



総合学科通信 <第2号>



発行 総合学科推進部 令和3年6月7日（月）

6月は春と夏の間、初夏です。昨年はこの頃から学校が始まりました。改めて2か月は大きいと感じます。当たり前が当たり前ではなくなったときにその有難味は分かるものです。

1学期も中間考査が終わり、半分が過ぎました。1日1日の積み重ねを大切にして、高校生活を満喫してください！そしてK-シリーズも！！



★★ゼミ活動開始！★★

現在2年次生は、ゼミ担当者との面談を繰り返しながら、テーマ設定をしているところです。「これってテーマになるのかな？」「何も思い浮かばない・・・どうしよう・・・」といった声も聞こえてきました。考えて悩んで、悩んで考えて・・・の繰り返しという人も多いことでしょう。

テーマ設定が良いと探究の8割は成功するといわれています。神戸大学石川教授に助言していただいた「オハイオ」「4C+E」を意識し、納得のいくテーマ設定をしましょう。



テーマに関連する本や資料・論文などを読み、知り得た情報を「研究ノート」にまとめていきます。このノートは後に基礎論文やポスター作成の基となり、自分にとって財産にもなります。楽しみながらたくさんの知識・情報をノートに書きためていきましょう。

6月2日に分野別説明会が開かれ、自分の興味関心や進路、探究のテーマに合わせて受講しました。講座の後半には、探究に関する助言も聞くことができたので、ぜひ参考にしてください！



『2分間スピーチ全体発表会』

6月17日、2分間スピーチの全体会が開催されます。

5月27日に行われた班内発表を受け、代表者が発表することになります。

高校入学以来2か月、皆さんの周辺ではさまざまな変化が生じていることでしょう。もちろん、この先も皆さんは変わり続

けていきます。ここでいっちょ、入学直後の高い志を言葉に直し、聴衆の心に刻み付けようではありませんか。

さあ、あられかえるほど思いを語れ！

学問別説明会→科目選択

どのような進路を選択するか。近い将来、皆さんがほぼ確実に直面する課題です。大事なことは、自己探究・社会探究ですよね。手始めに、多くの情報を得てください。それでもって、選択する根拠を固めてください。

さて、来年から何を勉強しようか。その答えは、学校を出た後の自分にあるんだ。



4月は京都大学総合博物館の塩瀬隆之准教授よりお話をいただき、AIの進歩などで激変してゆく世の中において、未知の分野にも挑戦することの重要性などを学びました。



また、自己PR講演会は自らの長所などを分析する機会となり、今後の面接試験のためだけ

ではなく、社会貢献の在り方についても考えることができました(万がーできていない人は考えてください)。

その後は興味関心に応じてゼミを選び、5月より活動を開始しています。ゼミ活動を通してこれまでのKシリーズで培ってきた課題発見力・計画力・発信力等をさらに伸ばし、皆さんの自己実現の一助となることを願っています。



5月に「プレゼン甲子園」の参加者を募集しました。2年次から7名の生徒が手を挙げてくれ、中間考査後からグループワークを重ねました。その後、プレゼン作成に勤しみ、この程完成しました！

短期集中で取り組んだものでしたが、これが次のチャレンジに繋がることを期待しています！